

令和 7 年 7 月 10 日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様

施設名 施設名
氏 名 永井千恵

研 修 会 報 告 書

研修会名	第1回相談関係職員研修会				
日 時	2025年7月2日(水)10:00～16:00				
会 場	県民活動総合センター 第1会議室				
発 表 者	飯田久美子氏(はなぶさ)、川島雅之氏(東松山市総合福祉エリア)、中台衣久美氏(高齢者ケアセンターゆらぎ)				
参加人数・定員	参加人数 39 名		募集定員 50 名		
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	飯田久美子(はなぶさ) サブリーダー:浅賀美希(なでしこ) 研修委員・メンバー:永井千恵(あすかHOUSE松伏) 中台衣久美(高齢者ケアセンターゆらぎ)・川島雅之(東松山市総合福祉エリア) 寺岡理事・内田事務局長				
研修会のテーマ	ソーシャルワーカーとして成長するためには ～先輩相談員の体験から学ぶ～				
研修会の評価	アンケート回収枚数	39 枚		3. グループワーク	4.8 5
	1. 研修内容と目的の一致	4.6 5		4. 研修会の進め方	4.6 5
	2. 講義に対する評価	①	5 / 5	～総合評価点～	24 25
		②	5 / 5		
		③	/ 5		
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)				
	アンケートにもありますが、現地に到着し受付にいくと予定していた部屋で他の研修会が行われており、研修案内とは異なる部屋(会議室1)を案内されました。急遽県活の受付の方に来訪者で問合せがあったらご案内いただける様をお願いをした上で、1階ロビーの食堂付近に1名、研修案内に記載をしていた部屋の前に1名を配置して対応をさせていただきました。参加者の皆さんには遠回りをしていただく結果となりましたが、今後は事前確認を十分行う様にしたいと思います。				
	午前中は、研修メンバーの3名から日頃の業務の中で失敗談など具体的な対応からの学びについて、そのケース概要やそれを経験した時のご自身の正直な思い、その後の対応や学びについてお話をさせていただきました。世の中には参加費を払いHOW TOを学ぶ研修はいくらでもあるのかもしれませんが、失敗談なども含めた県内の老健施設でのリアルな対応を伺い学ぶことが出来る機会がある事が、これまでも同研修会での貴重な機会でした。今回経験3年未満の方を対象としていた事もありこの様な内容を企画いたしました。多くの参加者の方に参考となったと受け止めて頂けた事はとてもありがたく思います。貴重なご発表をいただいた3名の研修メンバーの方には、心からお礼申し上げます。				
	また、午後はグループワークの時間を多く取りましたが、皆さん積極的に参加をされていました。お申し込みの際に聞いてみたい事を書いて下さった方も、グループワークで話を聞くことができ糸口が見つけられた様子でした。				
	日頃は他の施設での実践内容について、ゆっくりと話を伺える機会はなかなかありません。特に施設内でも少数部署となる相談職ですので、研修メンバーとしても各施設での取り組みは大変学びになりました。				
	開催にあたり、研修担当理事寺岡様、埼老健事務局の皆さま、事前の準備や当日の運営に際しましてご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。第2回も参加される皆さんと一緒に日頃の実践をふりかえり、それぞれの地域で老健の5つの理念と役割を目指し、地域に欠かせない施設となるよう相談職としての研鑽を重ねて参りたいと思います。				

* アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。